

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020 沖縄 うらそえ 報告書

コロナ禍のため、今年は会場で集まることを断念し、私たちの暮らしと共にある「ラジオ」を通じて地域の皆様にRFLの意義やがんサバイバーの生の声をお届けするとともに、YouTubeを使用してルミナリエセレモニーの様子を配信しました。

公民館の広場をお借りして夕暮れと共に始まったルミナリエセレモニーは、バイオリンとピアノの生演奏とエンプティテーブル朗読、ルミナリエバックにはそれぞれの想いや願いが書かれ、会場には小さいながらもHOPEの文字が。その後会場を浦添市のラジオ局・FM21に移し、21時から途中休憩を挟んで翌日13時まで特別番組「RFL2020沖縄うらそえfromFM21」をオンエア。がん患者家族の抱える悩みや医療の課題、地域で何ができるか、そしてRFLの意義などについてお伝えしました。



11月14日 (土) 20時～15日 (日) 13時



エンプティテーブル



会場準備



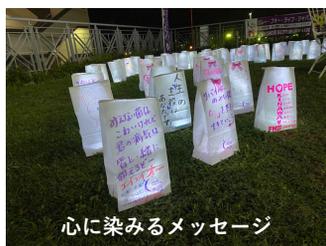
ルミナリエ設置



素敵な音色で癒される



ルミナリエ



心に染みるメッセージ



皆の願いを込めて



朗読



夜のエンプティテーブル



それぞれが想いを馳せる



一人じゃないよ



希望を胸に

リレー・フォー・ライフ沖縄うらそえ実行委員一同より

コロナ禍の今年はラジオとYouTubeを使用した初の配信による開催でした。ラジオ特番は21時からの生放送でオープニングし、23時からは収録番組で「治療と仕事の両立について」「ヘッドセラピー」「マインドフルネス」「緩和ケア」「抗がん剤の副作用」「ピアサポート」のお話。そして「ラジオでつながるルミナリエ」と題して30名のサバイバーの皆様から事前にいただいたメッセージと心に残った音楽を合わせてお届けしました。

出演した実行委員やゲストの方々やサバイバーとしてケアギバーとしての想いを語り合い、ラジオ配信中も参加リスナーからのメッセージが続々と届くなど、涙なみだの心温まる2日間でした。自宅で家事をしながら、子供の世話をしながら、体調が思わしくなくベッドの中から、遠くにお住まいの方でも気軽に参加できるラジオの良さを改めて感じました。

ピンチはチャンスという言葉に後押しされ、NPO乳がん患者会ぴんく・ぱんさあの皆様のご尽力で出来上がった今年のRFL。沖縄のユイマール精神とともに、ご協力ご支援いただいた皆様のおかげで盛大に終わることができました。心から感謝申し上げます。



収支報告（収支内訳）

お預かりした寄付		支出	
募金箱	31,539円	会場借用料	6,750円
参加費	8,000円	FMラジオ費用	187,440円
寄付金	454,591円	音響機器/ YouTube配信費用	313,940円
前年度繰越金	70,000円	消耗品	26,000円
オンライン寄付金	70,000円	次年度支度金	30,000円
計	634,130円	計	564,130円

皆様から頂いた寄付、協賛金などの収入からイベント運営費を除いた全てを、公益財団法人日本対がん協会のがん患者支援活動に寄付します。日本対がん協会への寄付は「プロジェクト未来」「若手医師育成のための奨学金」「悩みをサポート」「がん検診受診率アップ」などに使われます。

お預かりした寄付 — 支出（運営経費） = 対がん協会への寄付
634,130円 **564,130円** **70,000円**

SPECIAL THANKS

【主催】 リレーフォーライフジャパン沖縄うらそえ実行委員
公益財団法人 日本対がん協会

【後援】 浦添市

【協力】 FM21株式会社、浦添市西原自治会公民館、
合同会社 琉球ワンダー 代表社長 新屋啓太、
NPO乳がん患者会ぴんく・ぱんさあ

【参加費・寄付・募金箱設置】

ジャパンビバレッジ、宮良クリニック、浦添医師会、
中頭病院、友愛医療センター、マンマ家クリニック、
浦添総合病院、JAIFA、ファイナンシャルジャパン株式会社
沖縄支社、中村ひろみ、高良千佳、武富悦子、金城綾子、
窪田寿子、松原律子、宮平奈美子、富田 雅章、翁長スミ子、
荻堂信代、浦崎 西香

リレーフォーライフとは

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん制圧を目指し、1年を通じて取り組むチャリティ活動です。

1985年、一人のアメリカ人医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、現在世界約30ヶ国、約4500カ所で開催され、年間寄付は300億円にのぼります。

沖縄では、今年も11月頃を目途に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021 沖縄うらそえ」を開催するため、反響の大きかったラジオ配信も含め、新型コロナ感染拡大状況を鑑みながら検討を重ねております。

2006年に日本で始まったリレー・フォー・ライフは、本年2021年も形態は様々ではございますが、全国各地での開催が予定しております。皆様のご参加と変わらぬご支援とどうぞよろしくお願いいたします。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン沖縄うらそえ
<https://relayforlife.jp/urasoe/>



離れていてもSave Livesを胸に がんで苦しむ人悲しむ人がいない世の中を目指して

リレー・フォー・ライフ・ジャパン
2020
沖縄うらそえ
11月14日(土)・15日(日)

FM21より配信
76.8MHz

私たちの暮らしと共にある「ラジオ」を通して地域の皆様にRFLの意義やがんパイパーの生の声をお届けします。がんになっても安心して暮らせる沖縄であるために何かできるのかを考えるきっかけになればと思います。そして、どこにいても「つながる」「ひとりじゃない」と心から感じ希望を見出し、共に歩んで行きましょう。明日の未来のために!

【プログラム】11/14 21:00~11/15 13:00 (途中中断あり)
21:00~22:00 (生放送) オープニング
ルミナリエセレモニー (YouTube配信)
(収録放送) みんなでつなごうRFL2020沖縄うらそえ
「ラジオで繋ぐルミナリエ」「サバイバーストーク」
「ドクターズトーク」「ハットセラピー」他
6:30~7:30 (生放送) 朝日を見よう
12:00~13:00 (生放送) びんくりボンタイム、ファイナル

主催:リレー・フォー・ライフ・ジャパン沖縄うらそえ実行委員会、公益財団法人日本対がん協会
後援:厚生労働省、浦添市、読海市医師会
お問い合わせ先: okimawar@rfl.jp

フライヤー



FM21ラジオ局より



治療と仕事のお話



HOPE生放送



緩和ケアについて



朝日を見よう



実行委員

参加リスナーの声

今ままで参加出来なかったと思っていたイベントにラジオのおかげで参加することができました。
離島から応援しています。



スタジオの写真いいですね。
ラジオからも団結力が伝わってきました。
離れている場所でも繋がることできてよかった~。

深夜もずっと聴いていました。
すごい良いラジオで聞き入って寝ませんでした。ラジオの素晴らしさ、更に実感しています♪

